

# 御嶽山: 日本では富士山の次に高い成層火山 死火山という言葉が消した山

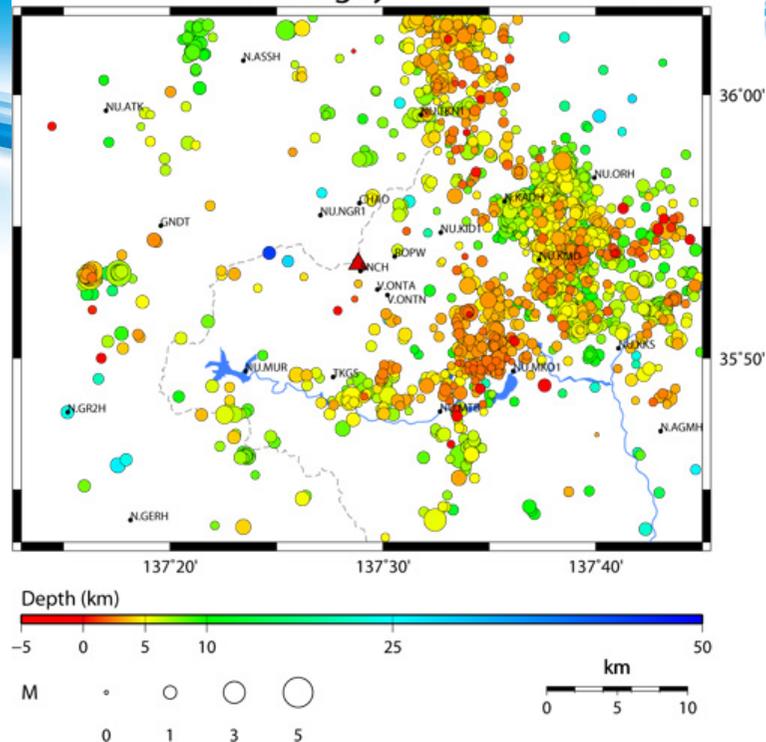


山中佳子(名大)

10月1日濁河スキー場跡より

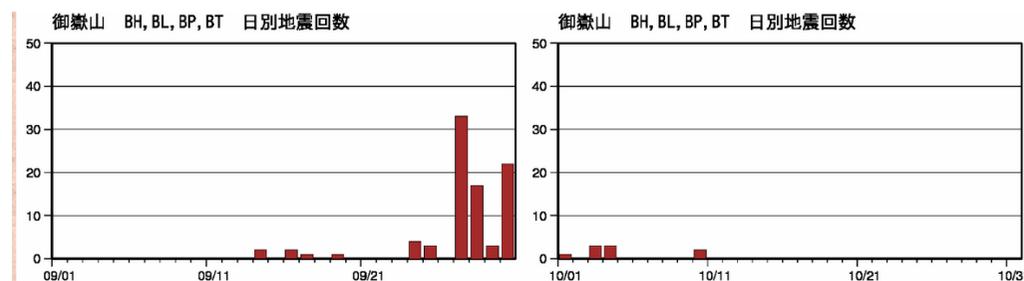
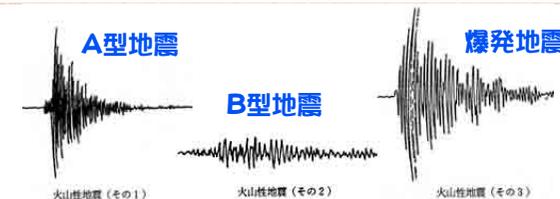
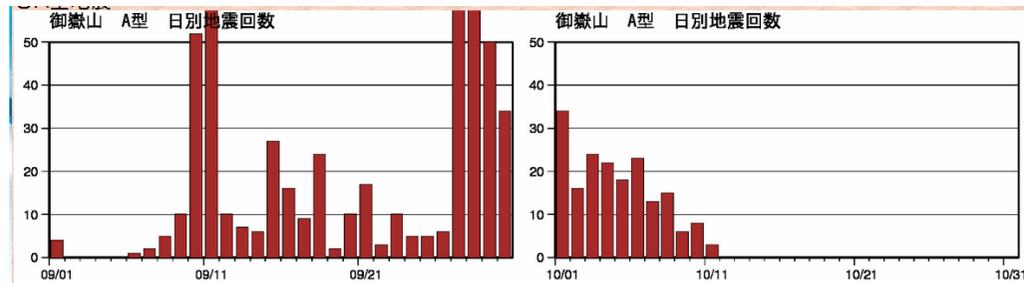
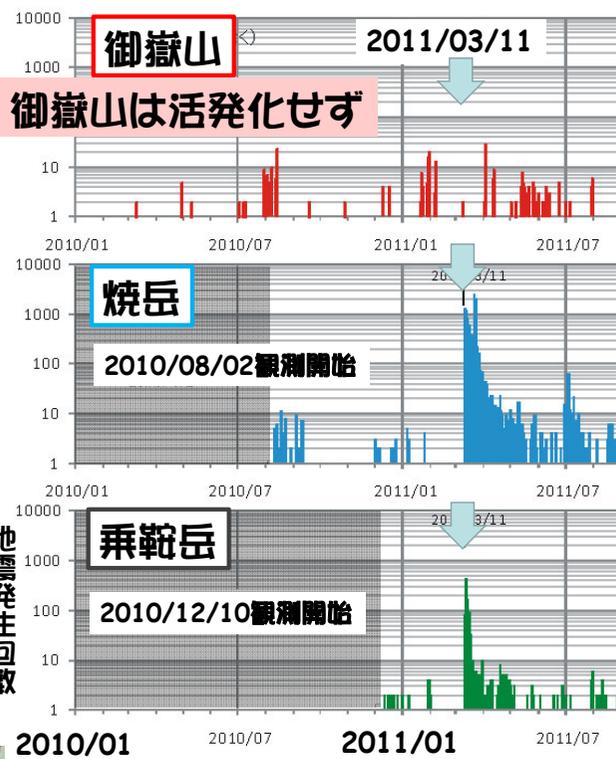
H24 Nagoya Univ.

n= 2784

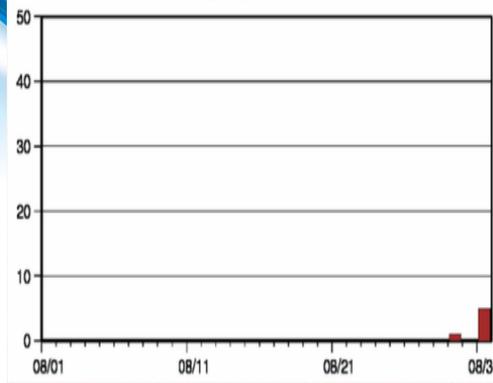


## 1. 御嶽山山頂

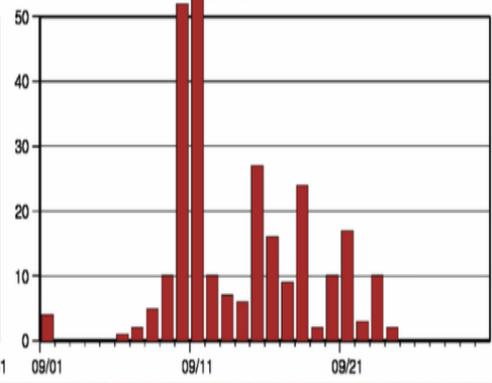
気象庁火山監視課による山頂直下の地震活動回数



御嶽山 A型 日別地震回数



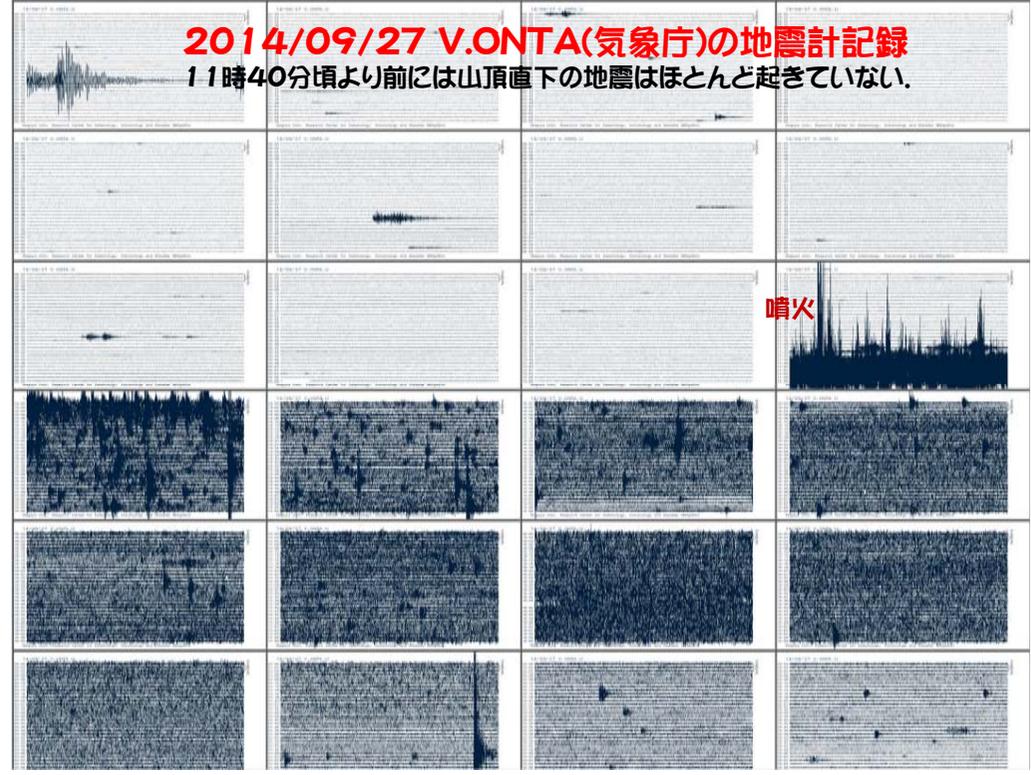
御嶽山 A型 日別地震回数



SO2 数百トン 結構多い  
産総研の解析では熱水系に起因する噴気ガス(10/10)

2014/09/27 V.ONTA(気象庁)の地震計記録

11時40分頃より前には山頂直下の地震はほとんど起きていない。



火山灰にはマグマ起源なし  
水蒸気噴火

観測点分布

青は名大定常、赤は名大臨時、黒は気象庁、緑は長野県、オレンジは岐阜県



# 気象庁が発表する火山情報

予報警報の略称	対象範囲	レベルとキーワード	説明		
			火山活動の状況	住民等の行動	登山者・入山者への対応
噴火警報	居住地域及びそれより火口側	レベル5 避難	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。	危険な居住地域からの避難等が必要（状況に応じて対象地域や方法を判断）。	
		レベル4 避難準備	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される（可能性が高まってきている）。	警戒が必要な居住地域での避難の準備、災害時要援護者の避難等が必要（状況に応じて対象地域を判断）。	
火口周辺警報	火口から居住地域近くまで	レベル3 入山規制	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活（今後の火山活動の推移に注意。入山規制）。状況に応じて災害時要援護者の避難準備等。	登山禁止・入山規制等、危険な地域への立入規制等（状況に応じて規制範囲を判断）。
	火口周辺	レベル2 火口周辺規制	火口周辺に影響を及ぼす（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）噴火が発生、あるいは発生すると予想される。	通常の生活。	火口周辺への立入規制等（状況に応じて火口周辺の規制範囲を判断）。
噴火予報	火口内等	レベル1 平常	火山活動は平常。火山活動の状況によって、火口内で火山灰の噴出等が見られる（この範囲に入った場合には生命に危険が及ぶ）。	通常の生活。	特になし（状況に応じて火口内への立入規制等）。

山頂直下の地震がたくさんおこれば噴火レベルを1→3にあげるべきだったか？

## これからどうなる？

- ・おさまる
- ・マグマ噴火に発展する  
 新燃岳: 2006年に水蒸気噴火  
 → 2011年マグマ噴火  
 ピナツボ: 1991.4 → 1991.6
- ・群発地震 → 大地震  
 1976年南東山麓で群発地震  
 1979年噴火  
 1984年長野県西部地震